

日常生活からの温室効果ガスの「見える化」に関する分科会（日常生活分科会） の設置について

1. 設置の背景・目的

日常生活による温室効果ガス（GHG）排出量については、エネルギー（電力やガス）の消費、水道の利用、廃棄物の排出、鉄道の利用等に伴う「見える化」は、現状では環境省や一部の事業者の Web サイトにおいてなされている。

当分科会では、更に日用品の買物等に伴う GHG 排出量の把握を含め、日常生活に関する包括的で、詳細な「見える化」の検討を行う。また、こうした見える化の対象を拡大すると共に、日常生活から排出される CO₂ 量を診断する「CO₂ 診断ツール」を Web サイトを介して提供することを予定しており、この CO₂ 診断ツールで提供すべき機能とその内容について検討を行う。

このツールを使用することで、将来の低炭素社会に向けた取組を促し、ひいては日常生活全体における省 CO₂ 化を推進する。

2. 主な検討事項

○日常生活からの温室効果ガスの「見える化」の進め方について

○日常生活 CO₂ 診断ツールについて

3. 平成 20 年度の検討スケジュール

10 月 16 日 第 1 回 日常生活分科会（検討事項整理）

12 月上旬 第 2 回 日常生活分科会（日常 CO₂ 診断ツールの検討）

1 月下旬 第 3 回 日常生活分科会（モデル事業の検討）

3 月 温室効果ガス排出量「見える化」推進戦略会議（4 回目）